

第3回環境問題委員会を開催

(社)日本物流団体連合会(物流連)は、平成16年8月6日(金)に第3回環境問題委員会(委員長:日本貨物鉄道(株)取締役会長 金田好生)を開催いたしました。

第3回委員会(平成16年度としては1回目)の主な内容は以下のとおりです。

なお、本日の委員会には、国土交通省から福内政策調整官と濱貨物流通施設課長が特別に出席し、グリーン物流パートナーシップ会議やグリーン物流総合プログラムについて説明すると共に委員と意見交換を行いました。

(1) 物流企業の温室効果ガス(CO₂)排出量算定方法ガイドライン(案)の検討について

平成15年度にとりまとめた物流業界に特化した算定方法は、燃料、電力等の使用量にリンクしたもので、簡便にCO₂排出量の把握ができるものであるが、今年度は、車両の大型化や低排出ガス認定車両の使用によりもたらされる削減効果の算定や、物流業者が複数荷主の貨物を輸送した場合の排出量の振り分け等にも利用できるよう改善を計る。

(2) 地球温暖化対策推進大綱の見直しへの対応

平成16年度末を目途に進められている推進大綱の見直し状況のうち、特に物流に関するものについて積極的に情報収集に努め、適宜適切な対応を行う。

(3) 排出権取引について

他の委員会(モーダルシフト・物流拠点委員会)と合同で委員会を開催して取り組む。

(4) 物流環境管理士養成講座の開講について

物流業界において環境問題に対応できる人材を育成するため、標記講座を平成16年9月17日(金)~12月12日(日)の間、延べ10日間開催する。

(5) 第6回物流環境大賞の募集概要について

第6回物流環境大賞の応募を10月1日から受け付ける。

以上

(連絡先) 03-3593-0139

担当 萩島、大橋